

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：和東町

プロジェクト名	茶源郷未来型交流のまちづくりプロジェクト		実施期間	平成29年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>和東町は、少子高齢化や若年層の転出等で人口が毎年100人程度減少しており、このままでは和東町全体が限界集落に近い状況になることが予想される。</p> <p>それを防ぐためにも、交流人口の増加やそれによる雇用創出をより一層図るとともに、住民との協働によるまちづくりを進めて定住人口の維持あるいは増加に繋げていく施策が必要とされている。</p> <p>また、本町の基幹産業である「お茶」は、生産量、生産額とも府内一という実績であるが、山間部という地形から機械化が図れず、生産規模拡大が進まない状況にある。茶農家の高齢化も進んでおり、茶畑の維持が困難となった結果、管理放棄された荒廃茶園も見受けられる。さらに近年、「お茶」の販売価格も伸び悩んでおり、知名度の向上や品質の向上はもちろん、茶農家の担い手育成などへの積極的な取り組みが必要とされている。</p> <p>加えてワールドマスターズゲームズ関西西大会に向けて盛り上がりが見込まれる中、「茶源郷和東」の知名度を国内だけでなく海外においてもさらに高め、地域資源である京都府景観資産登録第一号に認定された茶畑景観を観光客誘致に活用するなどした、交流人口の増大による町の活性化が求められている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「和東茶」や「茶畑景観」を活用した取組、「日本で最も美しい村」連合による取組、さらには宇治茶の「世界文化遺産登録」に向けた動きを活用し、交流人口の増加を図るとともに、地域ブランドの確立及び知名度の向上を図る。 ・そのために、和東町と住民、近隣市町村や大学連携等が一体となったまちづくりを進め、町のさらなる活性化を図る。 ・出品茶推進事業などで「宇治茶の主産地 和東」としての知名度を上げ、町内の基幹産業であるお茶の消費拡大・雇用拡大などを図り、茶の生産拡大や担い手の増加などを図る。 ・知識や経験を踏まえて創造性を発揮し、主体的・能動的に行動する職員の育成を図る。 ・同じく人口減少や地域産業の衰退といった課題を持つ相楽東部3町村に京都府を加えて課題に協働で取り組む体制を構築する。 ・交流人口の拡大を移住へとつなげるために、移住希望者への空き家情報を提供できるシステムを構築する。 							
	総事業費（千円）	21,434	本年度事業費（千円）	21,434	交付金額（千円）	10,674		
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	和東町協働のまちづくり・ひとづくり推進事業	交付対象事業	早稲田大学との協働により、まちづくりや人材育成を図る			入庁一年目の職員を対象に、行政職員としての考え方や和東町の今後の政策について、ディスカッション形式で議論を行った。		
	「日本で最も美しい村」連合事業	交付対象事業	NPO法人「日本で最も美しい村」連合活動費			総会等への出席に加え、当町最大のイベントである茶源郷まつりにて、近畿中国四国ブロックの特産品販売ブースを設けるなど加盟町村間の交流を強化した。		
	和東町PR事業	交付対象事業	全国町村会主催の「町イチ！村イチ！2017」に出展			首都圏を中心として、多くの和東町の魅力を発信し、知名度向上につながった。		
	相楽東部未来づくりセンター充実事業	交付対象事業	相楽東部3町村と京都府の協働により設置された相楽東部未来づくりセンターの事業費			3町村協働による農泊推進に向けて中心的な役割を担うなど、相楽東部の地域活性化に向けて取り組みを行った。		
	ワールドマスターズゲームズ調査研究事業	交付対象事業	2021年に和東町でMTB競技が開催されるワールドマスターズゲームズについて、大会開催のポイント等を専門的見地から調査する。			会場設営やボランティアの配置など、現地の確認に加え大会役員への聞き取り等を行い、開催に向けた準備を進めた。		
	和東町観光受入環境整備促進事業	交付対象事業	教育体験旅行やインバウンドの受入推進に向けて、受入れ家庭の拡大や旅行会社等への営業を委託する。			農泊は500名、インバウンドは600名を超える受入れを行い、宿泊を伴う体験型旅行の受入を進めた。		
	和東町空家バンク整備事業	交付対象事業	移住者向けに空家情報を提供する空家バンクを整備する。			空家バンクを設置するとともに、公益社団法人京都府宅建物取引業協会と協定を結び、空家バンクの運営に専門家の協力を得る体制を構築した。		
住民協働事業	出品茶推進事業	交付対象事業	和東町出品茶推進委員会への補助金			出品の奨励や摘み子の確保等を行い、町内出品茶の振興発展を図った。 京都府茶品評会出品数：合計20点		
	地域ブランド育成支援事業	交付対象事業	6次産業化や販路拡大を通じて、和東茶ブランドの育成・強化を図る。			茶源郷和東満喫イベントやリーガロイヤルホテル（京都・大阪・東京）で和東茶フェアを実施し、幅広く和東茶ブランドのPRを行った。		
	地域交流促進支援事業	交付対象事業	地域住民と町外の人が交流するイベントを実施する。			夏祭りには約1500人、茶源郷まつりには11,000人が来場するなど多くの集客を実現し、町内外の人が交流する場となった。		
住民が取り組む事業	和東町協働のまちづくり補助金事業	交付対象事業	地域住民によるまちづくり活動に対して補助			地域課題を解決するために活動している住民団体（本年度は5団体）に活動費を補助し、詐欺被害防止の啓発や移住者と地域住民との交流イベント等を実施した。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：和東町

成果指標①	成果指標の目標数値	人口動態 H28 4,129人 → H29 維持		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	4,026人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	生活上の利便性が高い近隣市町村への転出が止まらなかった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	交流人口 H28 94,463人 → H29 120,000人		成果指標の実績値 (29年12月31日時点)	152,984
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	・茶畑ハウスや茶いくるラインなどお茶の京都イベントの実施により、多くの観光客が来場したため ・地域住民自身の取り組みやパンフレット・啓発物品等の充実、イベント等でのブース出展など各種PRが効果を上げていると考えられる。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>・町内で積極的に地域課題の解決に取り組む団体を応援することにより、町内外の住民が参加したこれまでにない新たな公益的・社会貢献的なまちづくり活動が行われた。</p> <p>・交流人口25万人に向けて、引き続き観光客受け入れ体制を整えるとともにPRを積極的に行う。</p> <p>・交流人口の増加を移住に結びつけ、定住人口の増加につなげる体制を整備していく必要がある。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトスケッチコンテストの開催により、住民の郷土愛の醸成につながり、町外の方へのPRにもつながった。 ・お試しサテライトオフィスの整備により、企業誘致に向けた体制が整備された。 ・移住者向けの動画の作成により、移住者呼び込みに向けたツールを整備した。 			
	府と市町村等との連携に資する成果	宇治茶の生産量の大部分を占める本町にて、茶業の推進を図ることで、山城地域を中心に府が世界遺産への登録を目指している「宇治茶」ブランドの価値の向上につながった。			
	住民の自治意識を高める成果	地域住民主体で移住者と地域住民の交流に向けた取り組みが実施されるなど、地域住民自らによる地域活性化に向けた意識の向上が図られた。			
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果	<ul style="list-style-type: none"> ・茶源郷まつりをはじめとして、地元商工会のイベントなどにも多くの来場者があり、「茶源郷和東」のPRにつながった。 ・「日本で最も美しい村連合」の活動により、全国に「茶源郷和東」をPRすることができた。 			
	行財政改革に資する成果	<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学の中村講師が代表理事を務める(一財)地域経営推進センターと協働し、若手職員への研修を通じて行政職員として、人口減少や役場の役割等への問題意識を高めることができた。 			
	その他の成果				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。